

平成30年度川越比企保健医療圏難病対策地域協議会議事概要

1 日 時 平成30年11月2日（金）午後1時30分～2時45分

2 場 所 坂戸保健所 多目的ホール

3 出席者

【委員】 山里将端委員、吉松栄彦委員、得丸幸夫委員、中浦清人委員、平塚大委員、長谷部陽子委員、出口ゆかり委員、秋元圭子委員、澤田理恵委員、豊田知美委員、山田和子委員、入江さゆり委員、炭谷さつ子委員、中根文江委員、梶野丈彦委員、柴崎慎二委員（代理出席：島野和美）、高澤嘉晴委員、岡田庄一委員、田邊博義委員（欠席者：永井純子委員、村山嘉津子委員、福田誠委員）

【関係市町】 毛呂山町福祉課長、越生町健康福祉課主幹、ときがわ町福祉課主査
鶴ヶ島市障害者福祉課主幹

【事務局】 東松山保健所、坂戸保健所、川越市保健所

4 議事内容

(1) 事例報告からみる難病患者支援の課題について

(2) 在宅療養を支える障害福祉サービスとその課題

○委員から資料（非公開）に基づき説明ののち意見交換を行った。

【意見交換概要】

<サービス不足に関わる制度の課題>

- ・利用可能な重度訪問介護支援サービスが必要である。
（事業所登録はしているが、サービス提供を行っていない事業所が多い）
- ・医療処置ができる介護人材が不足しており、実施研修等の体制の整備が必要である。
- ・レスパイト先の病院が不足している。
- ・地域によりサービス量に差がある。
- ・複数の訪問看護ステーションが同一日に訪問看護サービスを提供できないことが、サービスの質の向上を妨げている。
- ・本人が「生きたい」という思いが実現できる環境を整えられるようになる必要がある。

<ケアの拡充に関する課題>

- ・歯科医師に訪問歯科で関わってもらえると良い。摂食嚥下の部分を、評価、支援してもらえると栄養面が保たれる。
- ・栄養面という点では栄養士にも関わってもらえると良い。
- ・患者、家族の精神的ケアが必要である。

<関係者のスキル向上>

- ・介護保険と障害福祉サービスの情報・連携協力についての関係者の理解。
- ・障害受容等について、患者、家族の精神的なサポートやフォローのためのスキル。
- ・災害時の機器の対応について関係者の理解、確認。